

熊本県鉱工業動向(平成26年9月分)

概況

	前月比の動き	参 考	
		九州 (速報)	全国 (速報)
生産	上昇	上昇	上昇
出荷	上昇	上昇	上昇
在庫	上昇	低下	低下

業種別の主な動き

	主な上昇・低下業種(及び主な品目)		参 考	
			九州 (速報)	全国 (速報)
生産	上昇	はん用・生産用機械工業(産業用ロボット) 輸送機械工業(※)	電子部品・デバイス工業 (半導体集積回路(ロジック、CCD)等)	輸送機械工業 (普通乗用車、普通トラック、自動車用エンジン等)
	低下	化学工業(医薬品) 食料品・たばこ工業(飲料)	はん用・生産用・業務用機械工業 (一般用蒸気タービン、クレーン等)	化学工業(除. 医薬品) (ポリエチレン、化粧水、高純度テレフタル酸等)
出荷	上昇	輸送機械工業(※) 電子部品・デバイス工業(集積回路)	電子部品・デバイス工業 (半導体集積回路(CCD、その他)等)	輸送機械工業 (軽・普通乗用車、普通トラック等)
	低下	化学工業(医薬品) 電気機械工業(※)	金属製品工業 (金網、橋りょう等)	化学工業(除. 医薬品) (合成ゴム、エチレン、プロピレン等)
在庫	上昇	※(※) 化学工業(※)	金属製品工業 (金網、スチール・ステンレス製建具等)	輸送機械工業 (小型乗用車、普通トラック等)
	低下	輸送機械工業(※) プラスチック製品工業(プラスチックフィルム)	鉄鋼業 (普通鋼鋼材、特殊鋼鋼材等)	電気機械工業 (太陽電池モジュール、電気冷蔵庫、鉛蓄電池等)

総括

[熊本県]

生産指数は 112.4 で、前月比 +0.5%となり、4ヶ月連続の上昇であった。
16業種中 8業種が上昇、8業種が低下であった。
出荷指数は 107.7 で、前月比 +2.6%となり、2ヶ月ぶりの上昇であった。
16業種中 10業種が上昇、6業種が低下であった。
在庫指数は 94.8 で、前月比 +10.7%となり、2ヶ月連続の上昇であった。
15業種中 6業種が上昇、9業種が低下であった。

[九州経済産業局](H26.11.12速報より)

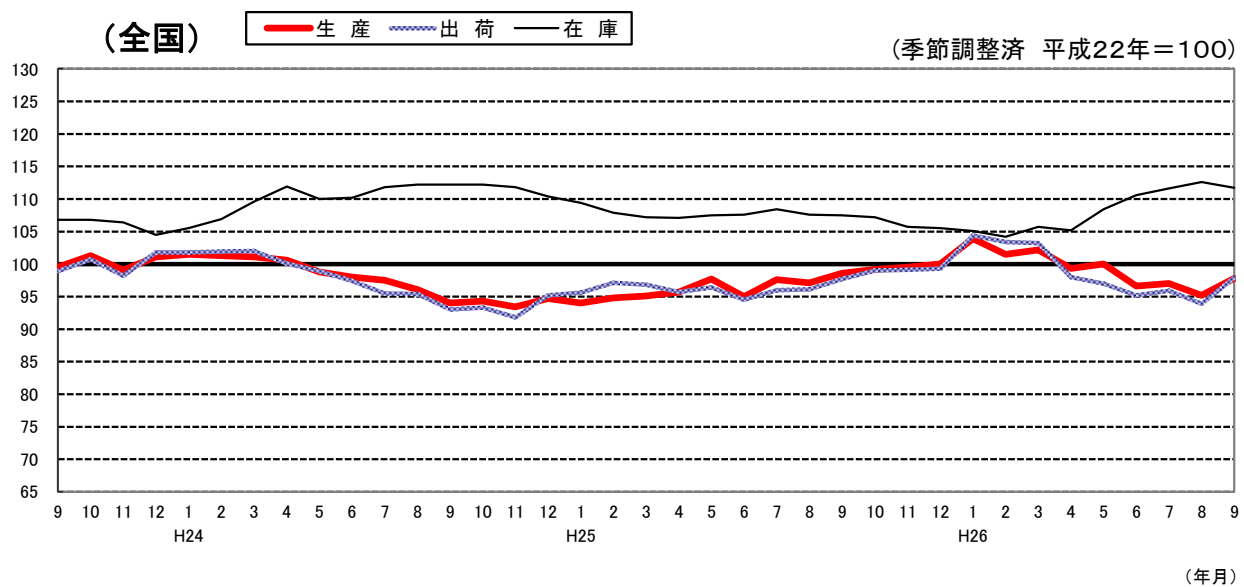
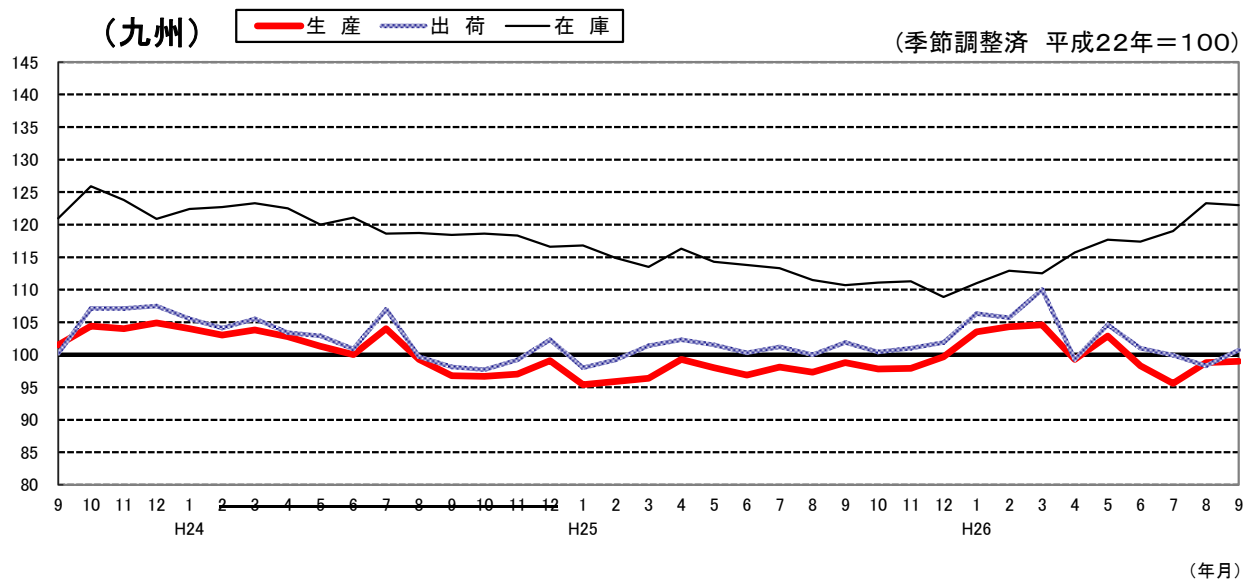
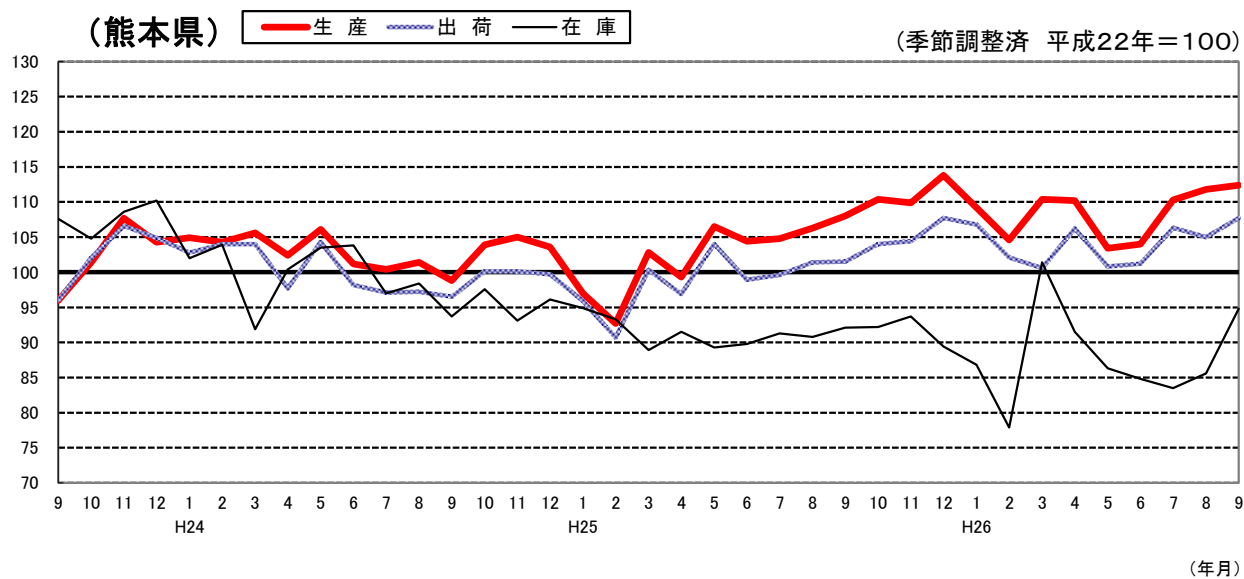
平成26年9月の鉱工業生産指数(季節調整済)は 99.0となり、前月比が+0.2%と2か月連続で上昇し、前年同月比は+1.8%と3か月ぶりの上昇となった。

[経済産業省](H26.10.29速報より)

今月は、生産、出荷は上昇、在庫、在庫率は低下であった。
製造工業生産予測調査によると、10月は低下、11月は上昇を予測している。
総じてみれば、生産は一進一退にある。



熊本県・九州・全国の鉱工業指数の推移



※ 最終月は速報値です。

1. 概況

－ 生産は4ヶ月連続の上昇 －

平成26年9月の鉱工業指数[速報値]

(平成22年=100)

		季節調整済指数	前月比(%)	原指数	前年同月比(%)
熊本県	生産	112.4	0.5	117.7	6.5
	出荷	107.7	2.6	115.8	8.4
	在庫	94.8	10.7	95.5	2.9
九州	生産	99.0	0.2	104.6	1.8
	出荷	100.7	2.4	108.1	0.3
	在庫	123.0	▲ 0.2	123.2	11.2
全国	生産	97.8	2.7	102.8	0.6
	出荷	97.9	4.3	104.7	1.7
	在庫	111.7	▲ 0.8	110.3	3.9

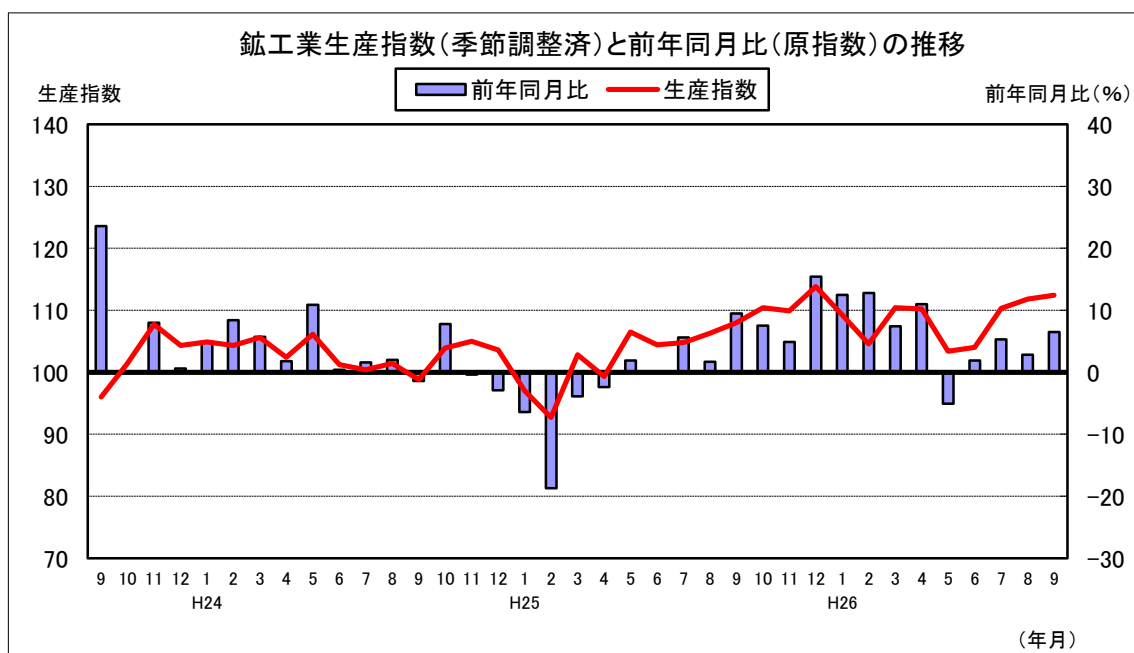
※「前月比」、「前年同月比」は上昇率を百分比(%)で表しています。

※生産・出荷の季節調整法はX-12-ARIMA(季節、曜日・祝祭日調整)、在庫指数はX-12-ARIMAの中のX-11デフォルトによります。

【生産】 生産指数は112.4で、前月比0.5%となり、4ヶ月連続の上昇であった。16業種中、化学工業や食料品・たばこ工業などの8業種が低下したが、はん用・生産用機械工業や輸送機械工業などの8業種が上昇した。

【出荷】 出荷指数は107.7で、前月比2.6%となり、2ヶ月ぶりの上昇であった。16業種中、化学工業や電気機械工業などの6業種が低下したが、輸送機械工業や電子部品・デバイス工業などの10業種が上昇した。

【在庫】 在庫指数は94.8で、前月比10.7%となり、2ヶ月連続の上昇であった。15業種中、輸送機械工業やプラスチック製品工業などの9業種が低下したものの、※や化学工業などの6業種が上昇した。



2. 業種別動向

【 生産 】

主な上昇・低下業種		ウェイト	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇・低下に寄与した品目
上 昇	はん用・生産用機械工業	1325.0	18.0	▲ 3.1	産業用ロボット
	輸送機械工業	1293.4	14.7	▲ 8.1	※
	金属製品工業	426.2	7.9	▲ 2.5	建築用金属製品
低 下	化学工業	868.7	▲ 9.9	18.6	医薬品
	食料品・たばこ工業	1417.1	▲ 6.1	▲ 8.0	飲料
	プラスチック製品工業	478.8	▲ 6.2	▲ 2.0	プラスチックフィルム

【 出荷 】

主な上昇・低下業種		ウェイト	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇・低下に寄与した品目
上 昇	輸送機械工業	1847.4	18.5	▲ 6.5	※
	電子部品・デバイス工業	1737.9	5.7	44.6	集積回路
	食料品・たばこ工業	1667.7	7.6	1.6	※
低 下	化学工業	846.8	▲ 22.1	9.9	医薬品
	電気機械工業	539.6	▲ 13.2	▲ 36.8	※
	非鉄金属工業	180.1	▲ 6.0	7.7	※

【 在庫 】

主な上昇・低下業種		ウェイト	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇・低下に寄与した品目
上 昇	※	※	※	※	※
	化学工業	1224.1	26.3	45.7	※
	食料品・たばこ工業	1733.1	14.3	6.9	※
低 下	輸送機械工業	386.8	▲ 6.1	71.3	※
	プラスチック製品工業	571.7	▲ 7.8	9.0	プラスチックフィルム
	電子部品・デバイス工業	766.8	▲ 43.1	▲ 70.7	※

表中の「※」は、統計の秘密保持の立場から、特に内容を秘匿としたものです。

3. 特殊分類別動向（財別の動き）

財 別	項 目	季節調整済指数	前月比(%)	原 指 数	前年同月比(%)
最終需要財	生 産	92.2	▲ 1.2	94.9	▲ 5.2
	出 荷	89.8	▲ 2.9	96.0	▲ 7.6
	在 庫	93.1	14.2	87.5	▲ 0.5
生 産 財	生 産	135.5	2.9	144.5	17.8
	出 荷	127.3	7.9	137.7	25.1
	在 庫	94.0	4.7	104.4	6.3

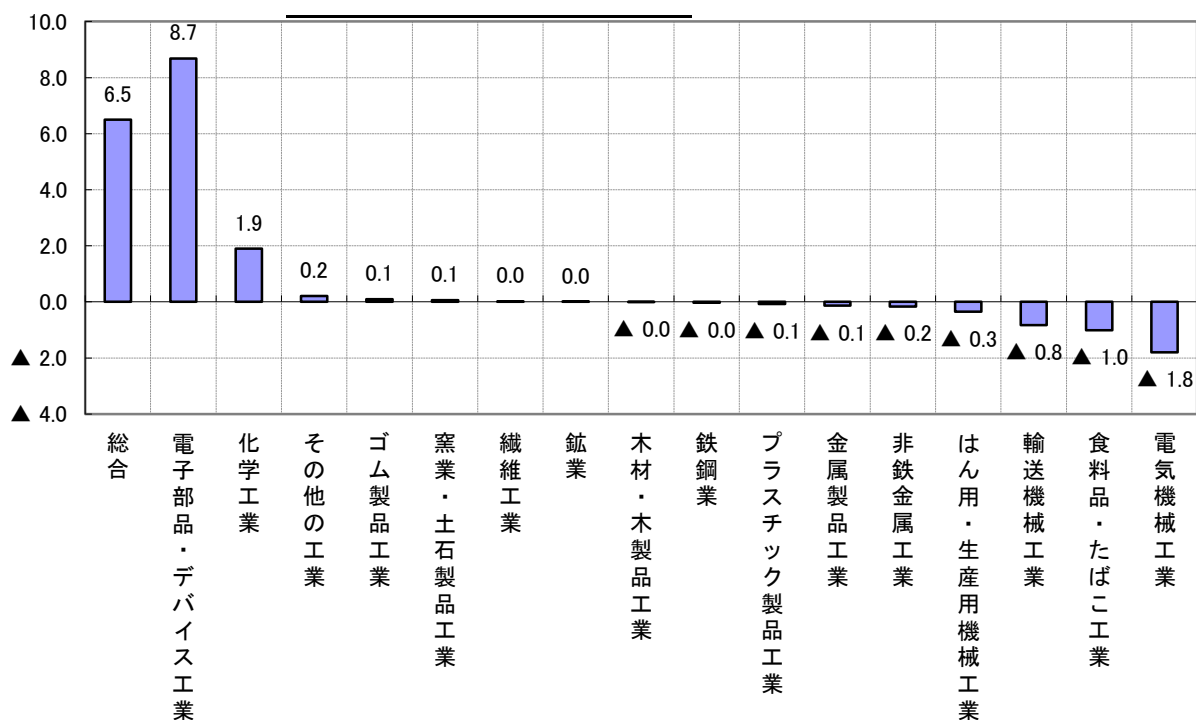
4. 特定品目の動向（集積回路の動き）

類 別	項 目	季節調整済指数	前月比(%)	原 指 数	前年同月比(%)
金額指数	生 産	248.4	4.7	278.1	43.6
	出 荷	225.3	12.3	257.5	55.9
	在 庫	0.4	33.3	0.4	▲ 71.4

類 別	項 目	季節調整済指数	前月比(%)	原 指 数	前年同月比(%)
数量指数	生 産	442.0	8.9	463.3	41.5
	出 荷			431.5	49.7
	在 庫	38.8	▲ 36.9	35.0	▲ 72.7

※ 総合指数や業種別指数には金額指数を採用しています。

5. 業種別寄与度（生産前年同月比）



※ 寄与度は、各業種の変化が、総合指数をどれだけ変化させたかを表します。ウェイトが反映されますので、業種によっては上昇幅が大きくても、ウェイトが非常に小さければ全体に対する貢献度は低くなる場合があります。また、ほとんどの業種が低下してもウェイトの大きい業種が上昇すれば、全体ではプラスになることがあります。